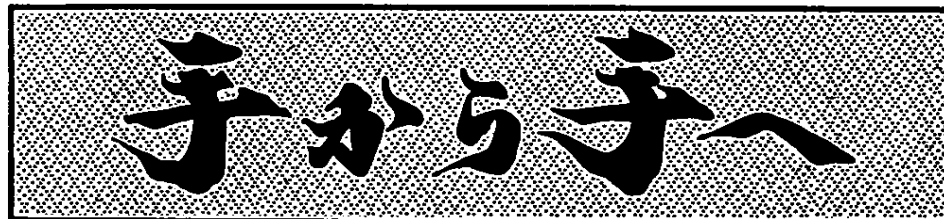


発行
東京都立大学労働組合
TEL=042-677-0213
Eメール=union@apricot.ocn.ne.jp
HP=http://tmu-union.org/



第 2872 号

2020年10月16日

対面授業が始まりましたが…



東京都立大学の後期の授業が10月1日から始まりました。原則として、オンライン授業とされていますが、実験実習を中心に対面授業も始まり、学生の大学構内への立ち入り禁止も解除されたことから、キャンパスに学生が戻ってきました。対面授業再開と立入禁止解除に向けて努力を積み重ねてこられた教職員のみなさんへ敬意を表します。

対面授業を行う際には、受講生の密を避け、受講生を教室定員の2分の1程度とするため、大きめの教室を使用し、実験実習の場合は、受講生を二組に分けて実施するなどの工夫が行われています。

後期授業が開始になってから、組合には、「学内LAN(有線)が突然止まって、オンライン授業がたびたび中断する」「学内LAN(有線)の通信速度が低下した」「無線LANがつながりにくい」という声が寄せられています。大学当局は、オンライン授業のための通信環境が整わない教員に対して、WiFiルーターを20台確保し、貸し出しを行っています。

また、対面授業の前後に学生がキャンパス内でオンライン授業を受講できるように、3密対策を施して教室を確保し、複数の通信事業者が提供するWiFiで接続しています。

オンライン授業では、受講生の理解促進のため、動画の活用も促されていますが、学内でのオンライン授業の受講生からは、「動画を多用する授業で回線が落ちた」という声も東京都立大学労働組合には届いています。

急がれる通信環境の整備

第5世代の携帯電話(5G)が使用できるように、南大沢キャンパスでは工事の準備が進められていて、早ければ2021年1月から利用できる見通しです。後期の授業期間中には間に合わないことや、そもそも5G回線を利用するためには、携帯電話を買い替える必要もあります。

当面、オンライン授業が継続されるのですから、通信環境の整備・増強は急務です。学内LANが止まるなどの状況については、原因究明も必要です。

組合は、5月8日付の機関紙『手から手へ』(2861号)で、大学当局のオンライン授業の準備状況を伝えるとともに、問題が発生した場合の情報提供を皆さんに呼びかけています。また、8月24日付『手から手へ』(2866号)では、東京都と法人当局に対して、「新型コロナウイルス対策のための補正予算要求」を提出したことをお伝えしています。

学外者立ち入り禁止措置について

学生の構内立ち入り禁止は解かれ、施設利用も再開されていますが、学外者の立ち入りについては禁止措置が続いています。南大沢キャンパスの国際交流会館の食堂は、現在も営業を休止しています。大学祭は中止が決定しています。国家試験や資格の認定試験などへの会場提供が行われていない状況です。プレミアムカレッジも原則オンライン授業が行われていますが、一部のゼミでは、対面授業も実施されています。学生のクラブ活動については、構内の活動は可能ですが、学外者を招いての活

動はできないことになっています。

会議を含む法人主催のイベント等については、100人程度までは収容定員の半分以下を条件に各所属の判断、100人を超える場合は法人との協議が必要とされています。

感染拡大防止について

(1) マスクの着用・手洗いの徹底 マスクの着用、水と石けんによる手洗い、手指の消毒を徹底する。

(2) ソーシャルディスタンス 人との間隔は、できるだけ2メートル(最低1メートル)を確保する。

(3) 「3つの密(密閉、密集、密接)」を避ける 扉や窓を開ける、サーキュレーターを使用する等、施設の定期的な換気を行う。人数・滞在時間の制限等により人の密度が高まらないよう配慮する。

(4) 参加者・従事者の体調管理 イベント参加者・従事者ともに体調管理を行い、体調不良の場合は無理せず休養を取る、などに留意して開催するとしている。

現時点で、100人を超えるイベントは実施がなく、100人以下については各所属判断のため不明ですが、不特定多数を招いてのイベントは実施できないとなっています。

日常を取り戻すために

新型コロナウイルス感染防止対策実施のため、さまざまな制限が加えられています。すべての制限を取り払うにはさらに時間が必要ですが、大学や高専の教育・研究などの日常を取り戻す、またコロナ禍のもとでの新たな日常の創造には、教職員の知恵と努力を結集する必要があります。

コロナ禍のもとで困ったこと、改善してほしいことなどの声を、組合へお寄せください。みんなの力で、新たな日常を創造していきましょう。

お詫びと訂正

左側「急がれる通信環境の整備」の項で、「第5世代の携帯電話(5G)が使用できるように、南大沢キャンパスでは工事の準備が進められていて、早ければ2021年1月から利用できる見通しです。」とお伝えしましたが、南大沢キャンパスに設置されるのは、研究用のローカル5Gで、通信事業者の回線ではありませんでした。

お詫びして、訂正いたします。